2022 年 5 月 18 日
株式会社テリロジー
（東証スタンダード　証券コード：3356）

テリロジー、米国SecurityGate社と販売代理店契約を締結し、OTセキュリティ分野のリスクマネージメント市場に参入！
～NIST サイバーフレームワークを組み込んだ業界初のSaaS型プラットフォームでOT/ICS専用分野の自動化リスクマネージメントソリューション～

株式会社テリロジー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿部 昭彦、以下「テリロジー」）は、米国 SecurityGate.io（本社：テキサス州ヒューストン、CEO：Ted Gutierrez、以下「SecurityGate 社」）と４月６日に国内販売代理店契約を締結したことをお知らせいたします。

テリロジーは、国内で初めて OT/ICS 分野にフォーカスしたアセスメント SaaS プラットフォームの本格的な取り扱いを開始し、数年後には日本における OT/ICS セキュリティ市場のリーディング企業を目指します。

昨今、エネルギー業界を含む国内重要インフラ分野でのサイバー脅威は急速に拡大しており、企業にはこれまで以上に迅速、適切、かつ継続的なセキュリティ対策が求められております。

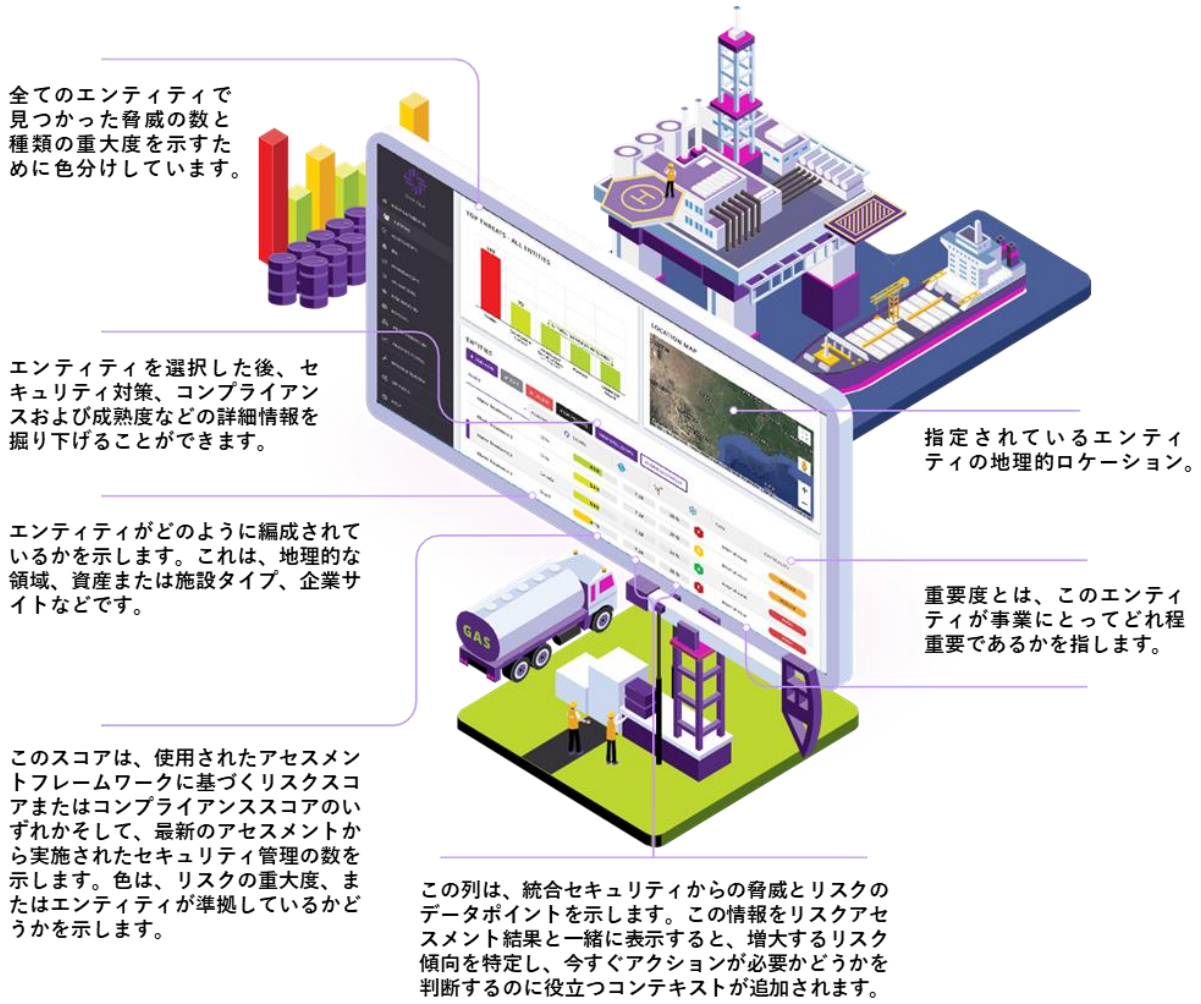
テリロジーは、OT/ICS 市場のマーケットリーダ、米国 Nozomi Networks 社の販売代理店として日本国内の製造業/社会重要インフラを中心とした多くの大手企業への導入実績を積み上げています。

テリロジーは、OT/ICS 分野のセキュリティポートフォーリオを拡充するため、SecurityGate 社のリスクマネージメント SaaS プラットフォームを追加しました。

SecurityGate 社は 2017 年に米国ヒューストンで設立。既に米国を中心に全世界 75 サイトで稼働しています。

SecurityGate 社のリスクマネージメント SaaS プラットフォームは、OT/ICS 専用に開発された SaaS ベースのリスクマネージメントプラットフォームであり、NIST CSF や IEC 62443 等、アセスメントの際に必要とする業界標準フレームワークが予め組み込まれております。米国、ヨーロッパを中心に大手データセンタでの SaaS 運用を展開しており、2022 年中には日本国内のデータセンタでの運用も計画しています。

出典：SecurityGate社のブログから抜粋



SecurityGate ダッシュボード

また、SecurityGate 社は、Nozomi Networks 社とテクニカルアライアンス契約を締結しており、Nozomi Networks 社の産業制御システム向けセキュリティ対策ソリューション「Guardian」と API 経由でのインテグレーションを実現しています。

なお、SecurityGate 社のリスクアセスメント SaaS プラットフォームの機能概要は以下の通りです。

●Intelligent Insights

ダッシュボードは、リスクスコア、アセスメントステータス、および修復のインサイトを提供します。SecurityGate の重要な差別化要因は、スプレッドシートや手作業によるヒアリングプロセスとは対照的に、同社のプラットフォームはユーザ、プロセス、テクノロジーをダッシュボードで一元管理する自動化プロセスのしくみを提供します。

●Faster, Low-Impact Assessments

従来の手作業の手順を削除し、アセスメントプロセスを自動化して作業効率を高めます。SecurityGate は、業界標準のサイバーセキュリティフレームワークが組み込まれています。さらに、独自のカスタムフレームワークをアップロードできるようになっています。

●Easier Remediations & Improvements

すべての OT/ICS リスクマネージメントタスクを 1 つにまとめることで、コンプライアンスの順守と成熟度スコアの向上がはるかに簡単になります。さらに、アセスメント後、修復の提案とアクションプランは、リスクの重大度に基づいて自動的に優先順位が付けられます。

●Entities Dashboard

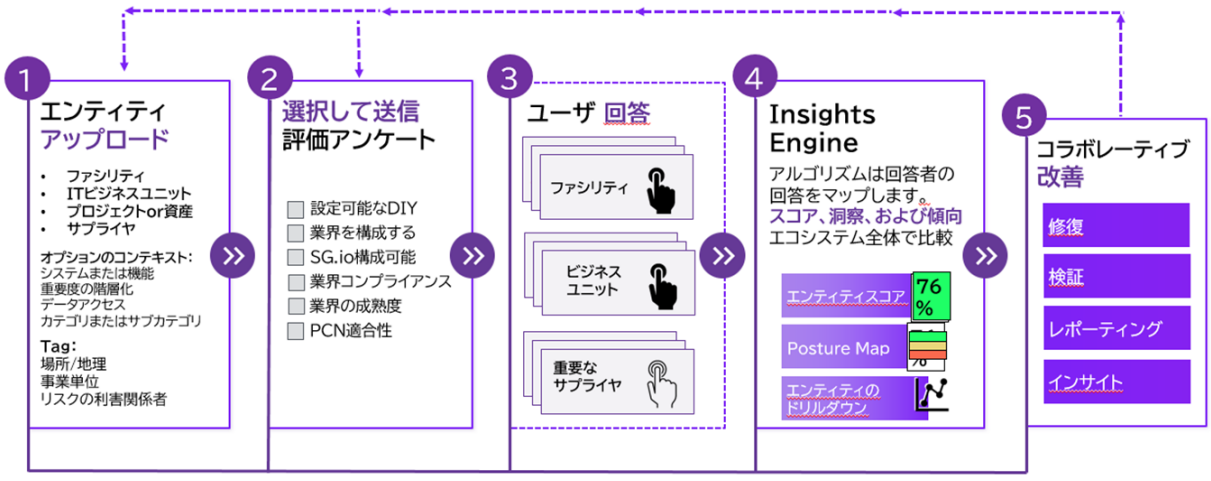
このダッシュボードに表示されるデータは、アセスメントと修復、コンプライアンス、成熟度から取得されたもので、企業全体の現在のリスクがどのように見えるかを完全にコンテキスト化されたビューで提供し、リスク予測に役立ちます。

●Module Builder

Module Builder は、既存のカスタムアセスメントフレームワークを使用したいユーザ、または新しいフレームワークを作成したいユーザのためのものです。標準業界のサイバーセキュリティフレームワーク全体から事前に作成された質問ライブラリーを選択し、必要に応じて編集するか、独自の質問を追加します。

●OpenAPI

SecurityGate の OpenAPI は、企業システム間のデータ統合を容易にするように設計されています。SecurityGate の OpenAPI を使用すると現在、HTTP を介してデータをクエリーし、RESTfulAPI エンドポイントを介して JSON 形式でデータを取り込むことができます。



SecurityGateの仕組み–マニュアルプロセスのDX化

※ OT/ICS：OT とは Operational Technology の略で IT が情報技術に対して産業分野の制御・運用技術。そして ICS とは Industrial Control System の略で工場とかプラント等の産業系の生産設備を制御するシステムを指す。
※ リスク：産業分野のリスクとはセキュリティ脅威のリスクで、サイバー攻撃の危険度を一般的にはスコアで表す。
※ アセスメント：産業分野でのアセスメントとは、工場とかプラントの生産設備を制御するシステムが安心・安全に管理されているかを評価・分析する手法。
※ エンティティ：工場とかプラント等の産業分野の基盤を構成する広義的な集合体を示す。具体的には企業組織、生産拠点、制御資産等を云う。
※ Insight Engine：洞察とか監視を行なうシステムを云う。
※ ダッシュボード：必要な情報を１つの画面に一覧表示して運用管理者が効率よく状態を把握する仕組み。

■ **株式会社テリロジーについて**

株式会社テリロジーは、1989 年に会社設立、セキュリティ、ネットワーク、モニタリング、ソリューションサービスの４つのセグメントを中核に、市場および顧客ニーズに対応したハードウェアからソフトウェア、サービス提供までの幅広い製品を取り扱うテクノロジーバリュークリエイターです。顧客は大企業や通信事業者を中心に 300 社を超え、ネットワーク関連ビジネスでは豊富な経験と実績を上げています。
（https://www.terilogy.com/）

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】
株式会社テリロジー
グループ事業推進統括部
OT/IoT セキュリティ事業推進部
TEL：03-3237-3291、FAX：03-3237-3293
e-mail：ot-iot-secdev@terilogy.com

【報道関係者お問い合わせ先】
株式会社テリロジー
広報担当 齋藤清和
TEL：03-3237-3291、FAX：03-3237-3316
e-mail：marketing@terilogy.com